



J・Pのイチオシ

今回は
ナンダっ?!



日本経済学園指定教科書《日本経済新聞出版社》泉美智子・河原和之 / 著

「経済? そんなの関係ねえ! そんなの関係ねえ!」本当に? 本当に関係ないって言い切れる? 何を買うにもお金が要るよね。「なんで、紙切れ1枚がお金になるの?」そのお金について、少し知っといても損はさせへんで~! と、何で急に関西弁が出てきたかと言うと、この本関西弁なんですわ。中を開くと分かると思うけど、お金にヤラシイようなクマの挿絵や面白い4コマ漫画も付いていて、表紙からは想像できないくらい分かりやすい経済の本ナノダっ!! なんて紙切れ1枚がお金になるのか、これでよく分かるでえ



【J331/ウ】

図書館のすぐれちゃん《真珠書院》あがさクリスマス / 編著



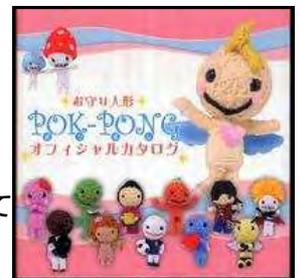
生協の白さんの二番煎じ? とおもわせる内容だけど、それでも結構笑っちゃう。著者は福島県の高校の図書館長をつとめながら、生徒たちの素朴な疑問や要望に込えている。

- ・ がんなみの本、ありますか? (1学年*ぼけ生徒)「え、がんなみの本? ゲームの本か?」「あったでしょ? ここに...」「まさか? それ岩波(いわなみ)の本のこと?...」
- ・ 獄本のバラの本を入れてください。(3学年*はなこ)...さて、どうでしょう。よく調べたら「獄本野ばら」ですね。馬鹿もん! はっきり著者名を書いてください! 『エミリー』だけあります。ただ、延滞中です。

延滞中かいつ!! とつつこみを入れたくなっちゃうけど(笑) ほのぼのした雰囲気がとてもGOODだ。 【J017/ト】

お守り人形 POK - PONG オフィシャルカタログ 《エンターブレイン》

POK - PONG かわいい...♥ お店でよく見かけますが、こんなに種類があったとは知らなかった! 恋愛、保身、対人・友情、スキルアップ... などなどの効き目を持つお守りだってことは知っていたけど、ディズニー POK - PONG やご当地 POK - PONG、季節限定の POK - PONG までホントに様々な衣装を身にまとっています。キミが持っている POK - PONG は載っているかな? 持っていなくても可愛い写真がいっぱいなので、見ているだけで癒される... 【J759/オ】



Talking アスカ 《ジャイブ》松村栄子 / 著



この本は短編集で、いろいろな年代の女の子が主人公。小4から三十路に手が届きそうな年齢まで実に様々。それほど様々な年代の主人公が登場するのに、どの話を読んでも年代を感じさせず、しかも共感できる。書名にもなっている「Talking アスカ」の主人公アスカは高校1年生で、不登校のマミとよく電話で話す。その会話そのもので(とは言っても、アスカの話し言葉だけだけど)、ずっと話が続いていくのがオモシロイ。たまたま駅のホームや路上で高校生がケータイで話をしているのが、もれ聞こえてきちゃったかのような。別に、不登校の問題を扱っているわけでもなくアスカという女子高校生の、普通の生活を切り取ってきたような作品だ。アスカのクラスメイトのちょっと気になる富田君のハナシが個人的には気に入っている。 【J913/マ】

こたつで、みかん。どくしよ。





J・Pのイチオシ

秋の夜長の
オススメ本!



「美しい」ってなんだろう? 《理論者》森村泰昌 / 著

「芸術の秋」ですもの。と言いつつも、この本は「芸術」なんて堅苦しいことは一切ナシ。「美術」についての本なのデス。でも、美術ってなに? 説明できる人はなかなかイナイと思うよ。著者の森村泰昌さんは、冒頭で自分のことを「美術家」だと話している。さすがに美術家だというだけあって、森村さんはとてもわかりやすく、面白く「美術」が何かを教えてくれる。さて美術館で名画を前にしたら、キミならどうする? 腕組みなんかして難しい顔で鑑賞するのかな? でもそれで本当に楽しめる? 芸術がわかる? 森村さんは「絵のまえではまずうでぐみをせず、笑ってみよう」と提案している。絵を笑うには、どうすればいいかはこの本を読めばわかるヨ。【J704/ウ】



一期一会メモリーブック 《ポプラ社》かたのともこ / 作・絵

雑貨屋さんなんかでこのキャラクターグッズはおなじみ。かわいいイラストといっしょに、結構ズシンとくる言葉が添えられている。「長いと感じた通学時間も二人になったあの日からほんの一瞬に思えるんだ。」うんうん、そうだよ。楽しい時間は、あっという間に過ぎちゃうんだ。私の場合は昼休みがそれに当たる...色気より食い気が(T_T)。そんなことはおいといて、この本には「友」と「恋」と大きく2つのテーマに分けてイラストと言葉とそれから友エッセイ・恋エッセイものっています。友達といっしょに、くつきあって読みたい本。【J159/イ】



みんなのノート 中学生の巻 《大月書店》金子由美子・橋本早苗 / 貯

上で紹介した『一期一会メモリーブック』と少し似ているかな。でも、こちらの本はホンモノの中学生が書いたイラスト。イラストというよりは、ティーンズのみんが授業中ノートにこっそり書いているような、落書き。こちらは、大事なことが書いてあったり、そうでもなかったり。だれかのノートをこっそり(こっそりが好きだな)読んでいるような気持ちで、ドキドキするのだ。どっから読んでもいいし最後まで読まなくていいって、1ページ目に書いてあるとおり全く気負いはらず、肩の力を抜いて寝ころがって読もっ!!



【J371/ミ】

うさぎパン 《メディアファクトリー》瀧羽麻子 / 著

まず、パンが食べたくなくなった。私はどちらかというごはん党なのだけれど...。だって目次がパンなんだよ(笑)。父親との上手くいっていない関係や父親の単身赴任、継母との2人暮らし、成績が下がったことから家庭教師を付けられたこと、その家庭教師に取り付く母親の幽霊、片思いの相手とのけんか...。こうやって書き出すと暗いハナシだなあって思うでしょ? ちがうんだなあ、これが。一人の女子高生を中心としてゆっくりと話すすむ。会話がすごく素敵なので、この不幸な(?)家庭環境も全く不幸とは思わないのだ。不幸な家庭環境すら普通のことだと思えるほど、さりげなく爽やかなのだ。最後に母親の幽霊は成仏するのだけれど、このシーンがとてもイっ!!泣ける。この作品は2007年第2回ダ・ヴィンチ文学賞大賞を受賞してマス。

【J913/ト】



難しい本はキライ... (泣)



J・Pのイチオシ

ムーディーな
夏を・・・?!



クジラの彼《角川書店》有川浩 / 著

有川浩ってオトコ?!...いえいえ、女性デス。そして、この『クジラの彼』は、著者も認めるベタアマ恋愛小説ナノダ。舞台は全て自衛隊がらみ、なんて言うと敬遠されちゃうかな? 自衛隊なんて興味ナイ...って思ってる人も読んでみて。たまたま舞台が自衛隊なだけ。恋している人も、恋したい人もみーんなまとめて元気してくれる話ばかり。いろいろなかっこ可愛い女性が登場するけど、その女性には、それぞれステキなパートナーがいるわけで...大人の私もこんなのあり得ないと思いつつ、こんな彼氏ほしいと物欲しげになりながら、ついつい読んでしまうのだ。オンナゴゴロの理解できない男子諸君もこれを読めば少しは理解できるようになるかも?!だ。

【J913/A】



気分はもう、裁判長《理論社》北尾トロ / 著

さて、キミは2009年5月までに始まる「裁判員制度」を知っているかな? 今スグには直接関係が無いかもしれないが、20歳以上になればキミだって裁判員に選ばれる可能性は十分にある。ところで、裁判所へ行ったことはある? 中学生の時、学校からの見学で行ったことがある人もいるかもしれないね。でも、ほとんどの人が裁判所ってどういうところなのか知らないと思う。裁判所って実は私たちが考えるより敷居の低いところらしい。でも、突然行くには勇気がいるから、まずはこの本で軽く紙上体験しておこう! 強制わいせつや離婚など、ちょっぴり興味がある事件などの裁判もこの本で覗けマス。

【J327/キ】



ゆかた大好き! 2007SUMMER《世界文化社》

今年の花火大会はどんなゆかたを着て行こう...。夏祭りに盆踊り、何もイベントが無くても着てみたいゆかた。ゆかた初心者のコモ、この本を参考にコーディネートしてみたいかが? 着付けの方法や自分でアレンジできるゆかたヘアはもちろん、ゆかたに合わせるコサージュやバッグにかご、ラインストーンのついた可愛い下駄も紹介されてるヨ。

ご丁寧に全国の「彼と行きたい!!花火大会♥情報」も巻末に掲載。男子もカノジョに内緒で巻頭の井上真央ちゃんのゆかた姿をお楽しみあれ! (ダメ?)

【J593/ユ/07】



うさぎの映画館《メディアワークス》殿先菜生 / 著

主人公の静流は高校3年生。受験生だ。ある日バイト先の骨董屋で雲井進という同級生に出会う。不幸な過去を背負う静流がくり返し見る夢や、なかなか過去を乗り越えられない現状が雲井との出会いにより少しずつ変わってゆく。最後のオチにも注目だ(笑)。

夢ってふしぎだね。私はいまだに自分が高校生で、体育館シューズや英語の辞書を忘れて友達に借りたいのに、なかなか借りられなくて焦って目が覚める...という夢をたまに見ます。別に高校生の時にそんなに忘れ物をしていたわけでもないのにね、何でかな? くり返し見る夢って、何かイミがあるような気がしてとても気になる。さて、あとがきによるとこの作品がデビュー作という著者も、くり返し見る夢があるそう。それが何かは読んでのお楽しみ!!

【J913/T】

ぼうけん
本の中なら、冒険できる!



J・Pのイチオシ

ジメジメしてる
場合じゃない!!



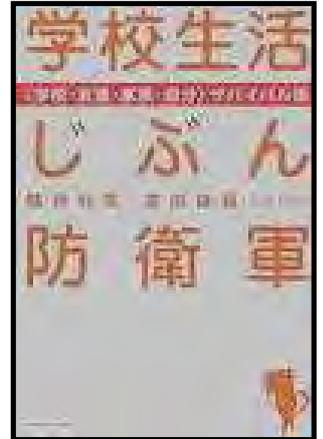
学校生活じぶん防衛軍《情報センター出版局》宮田雄吾 / 著

新学期が始まって早2ヶ月が経つよね。学校ではうまくいってる？友だちとは？先生とは？早くも問題にぶち当たっている人や、問題が起こりそうで不安な人、ラブリでハッピーな毎日を送っている人...様々だよな。

「いじめを言いつけるのは卑怯か？」「告白された。でも.....好きじゃない」などなど、身近な問題に精神科医の著者がアドバイス。自分の身に起こりそうな問題対策の参考にどうぞ。...でも「告白された...」なんてウラヤマシイ!! o(>_<)o

そんなモンダイならWellcome!!(笑)

【J159/カ】



おばあちゃんが、ぼけた。《理論社》村瀬孝生 / 著

この本は面白い!! いや、面白いと言っちゃあ失礼が...。でも、なんだかとてもほほえましくて、可愛らしくて面白いノダ。この本にはいろんな「ぼけた」老人のエピソードが書かれていて、どの話もみんな笑ってしまう。下手なお笑い芸人の「ボケ」なんかより、ずっとイケてるジーさん・バーさんがぎっしりナノダ。100%ORANGE!が描く挿絵はモチロン、時々出てくる4コマにも注目だよ。ボケた家族を抱えて必死で介護する、そんなありがちな本ではない。わはは...と笑って読んでるうちに、じんわり大事なことが伝わってくるような、そんな愛しい1冊だ。

【J369/オ】

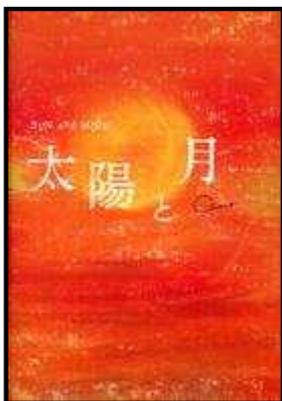
まんがキッチン《アспект》福田里香 / 著

女の子なら誰でもスキ?!な、少女マンガとお菓子作りのコラボ。おなじみ『ハチクロ』や『のだめ』などから飛び出したCUTEでおいしそうなお菓子が満載!!『ベルばら』などお母さん世代でもよく知っているマンガも登場するヨ。お菓子のレシピはもちろん付いてるし、可愛らしく飾られたお菓子の写真も盛り付けやラッピングの参考になりそう。少女マンガについても、的を得た書評が簡潔に、しかもネタバレしない程度に書かれていて、読みたくなる気分をそそられる。マンガもお菓子も食べ(読み)だしたら止まらないノダっ!!(座布団1枚!ちがうか...)

【J596/マ】



太陽と月《スターツ出版》Chaco / 著



今流行の“ケータイ小説”というヤツだ。「教育に悪い」とか「こんなの文学じゃない」とかイロイロ言うオトナもいるけれど、これが等身大のティーンズの気持ちなんだ。別に文学じゃなくたっていいじゃん。主人公木村幹、そして幹の片思いの相手中西拓馬を中心にこのストーリーが展開していく。一途に拓馬を想う幹、でも親友の雪奈も実は拓馬が好きだった。2人の気持ちをよそに、拓馬には彼女ができてしまう...。今日学校で何回すれ違ったとか、何回顔が見れたとかそんなことですら嬉しくなるような「恋」したことあるよね?!メールで読みなれた横書きの文章だから、ティーンズには読みやすいヨ 人気の前作『天使がくれたもの』のサイドストーリーのこの小説、Wで借りてもいいかも。ただし、『天くれ』は一般のコーナーでどうぞ。

【J913/チ】(太陽と月)・【F913.6/チャ】(天くれ)

心はカラッと晴れで行こう